

掃水まちづくり協議会

たより

平成20年10月17日
掃水まちづくり協議会
第24号

クリーン作戦

十二月二十四日(月祝)

予備日 十一月三十日(日)

産業振興部長 森坂 享司

クリーン作戦の趣意

一、昔から掃田川と住民との関わりは深い。

掃水校区は掃田川に沿って存在し、昔から掃田川との関わりも大変深い。

住民は、古くから豊富な水を農業用水としてその恩恵を享受してきた。今も広大な河川敷から堤防一帯には肥沃な畑や、また静寂な森林地も存在し、野鳥や草花も多く見られる。今もこの自然の中でスポーツや散歩やジョギング等を楽しむ人も多い。

二、河川の環境美化を推進する。

しかし、堤防や河川敷に漂流物、不法投棄物も多く、環境美化を大きく損ねている。作戦では、市や国交省などにも呼びかけ、それらの撤去を行い、環境美化を推進する。

三、住民の環境問題について考える機会とする。

作戦の実施に当たっては、掃水まちづくり協議会のテーマに基づき多くの住民がこの行事に参加できるように工夫する。大人の参加だけでなく、次代を担う中学生などの若い世代にも積極的に参加を呼びかけ、みんなで身近な環境問題を考える機会にしたい。

中学生の地域行事への参加は地域住民との交流を深め、中学生の健全育成のみならず、地域を考えるきっかけとしたい。

○集合場所・時間

市水道部 第一水源地事務所 前へ集合(掃田橋八百m上流) 受付 八時三十分〜九時

○作業内容

掃田川堤防(掃田川被川統合頭首工から近鉄鉄橋)の清掃

○お願い

当日は作業のしやすい服装で、隣近所誘い合ってご参加をお願いします。

また、環境に関心を持つ子を育てる観点から、町内の皆様で、できるだけ小中学生にも呼び掛け親子の参加をお願いします。

※手袋・ゴミ袋は準備します。作業終了後、参加者全員にさといも汁を準備しております。

掃水地区防災訓練

十一月十六日(日)

安全防災部長 安達 正昭

今年度も下記のように「掃水地区防災訓練」を開催し、「体験コーナー」「訓練コーナー」「資格取得コーナー」を設け、実施します。

体験コーナーでは、はしご車を配備する予定ですので、お子様方の体験、見学もできます。多くのみなさまの参加をお願いします。

一、時間

(集合) 午前八時五十分
(訓練) 午前九時〜十二時まで

二、場所 掃水小学校グラウンド及び体育館

三、内容 体験コーナー

○はしご車体験

○ホース筒先圧力体験

訓練コーナー

○水消火器による消火訓練

○バケツリレーによる消火訓練

○消火栓接続、ホース接続訓練

○土のう作り、積み上げ訓練

資格取得コーナー

○普通救命講習(AED含む)

各自自治会の代表の方に参加していただき、参加された方には修了証が交付されます。

四、指導者

松阪南消防署・掃田地区消防団・消防支援隊

高齢者・環境問題プロジェクト
チームの皆さんの紹介!

これからの社会は高齢者問題、環境問題が今以上に大きく取上げられてきます。これらの問題について、自分たちで出来ることに取り組みようとしているのが高齢者・環境問題プロジェクトの皆さん(上の一覽表)です。地域での推進を願って熱心な討議をしていただいています。

「さくらんぼ」から運動についてお願い!

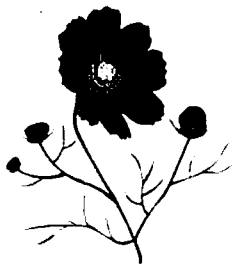
○「資格推進カード」(台紙)は貼っていただきましたが、

○カードはポストなどで見えるところに貼ってください。

○クローバーの花びらは、達成できた項目から貼ってください。

この運動は、二十二年一月末までかけて、じっくりと取り組んでいくものです。

みなさんのご理解、ご協力をお願いします。



高齢者問題・環境問題のプロジェクトのチーム名簿			
高齢者問題プロジェクト		環境問題プロジェクト	
民生委員・児童委員	伊賀町	奥田一郎	山添町 中西 徹
	豊原町	安田晃夫	安楽町 大滝信行
	山添町	森田紀久雄	山下町 水谷 勝
	安楽町	脇田昭子	みどり苑 迫 忠志
	豊原町	宇佐見治代	伊賀町 山本昌彦
	掃田町	北岡紘子	豊原町 控井 昇
	掃田町	早川美恵子	掃田町 小西信久
自治会代表	清水町	平田孝充	清水町 河合勝嘉
	山添町	松本 孝	菅生町 永田登美一
	安楽町	中西敏夫	青少年環境育成部 西村博次
	山下町	笹山博道	本部 久瀬 幸
	みどり苑	田中宏幸	
	豊原町	木村重夫	
	掃田町	松本雅美	
清水町	橋本 泉		
菅生町	永田博久		
本部	中西義彦		

て、挨拶運動、資源ゴミ回収、マイバックの活用、ゴミ減量の四つの取り組み項目があつて、達成できるとシールを貼るようになっていくそうです。

わたしは、朝、「おはよう」、「こんにちは」とか言われると、「今日も学校をがんばろう」という気持ちになって、気分がよくなります。そうすると、返事をしなくなりません。自分から言う時は、ドキドキします。なぜかという、返事を返してあげないかもしれないと思うからです。でも勇気をふりしぼって言いま

「びきり」から運動

東部中学校 二年

墨屋日 山本素人

最近、通学路にしている道を走ると、四葉のクローバーの形をしたシールを目にします。これは「啓発推進カード」といっ

墓地の移転とその後
山下町自治会長 笹山博道

この移転は、松阪市の運動公園が当山下町墓地のある山林地帯にできるのに端を発し、行われたものであります。移転作業は昨年暮れから今年の三月の彼岸までに終えようと計画・実施しました。

僕もできることから始めていきます。登下校のあいさつはこれまで以上に声を出してするようになっています。ほとんどの人が返してくれるのでとても気持ちがいいです。また、買い物に行つた時、少しの商品の場合は自分から「袋はいりません」と言つて商品代金済みのテープを貼ってもらうようにします。

地球のためとか環境のためのことですが、これからは自分のためでもあります。僕たち子どもでもできることはたくさんあると思うのでこれからも心がけていきたいと思ひます。

今まで誰もが経験したことのないことであり、当初から協議は右往左往することも多く、実施するに当たつては、代表五人による建設役員会を立ち上げ、墓地の施工工程等すべてについて協議し、自治会へ提示し承認を得、実行するという形をとりました。当初は公園内に古く先祖から続く墓地であるため、そのまま置いておくという意見も根強くあり、またそれとも別のど

この場所に移転をするのか等、いろいろと協議を重ねましたが、最終的には自治会として、集落に隣接するところに移転をしようということになりました。

この他、意外と多い無縁の墓石をどうするか、墓石の性根抜き、新墓地の大きさ、区画配置等、それに新しく六地蔵を設置するのかどうか、水くみ場や甲い場とそれらの館の設置、それと、この土地全体での区画数と一区画の大きさなどについても協

議は及びました。おかげさまで市の協力もあり、数多くの難題も解決でき、山下町集落に隣接する三十六区画を有する立派な新しい山下墓地が完成いたしました。

今では朝六時ころから参拝者が訪れ、いつも墓地では花筒に花が絶えないようになりました。この墓地が、ずっとこれから先も先祖様はじめ地域の方の安らぎの場所になってほしいと願っています。

知って得する昔の話
シリーズ その五
掃水名付け親は奥田三角

掃水川も名前が知られてくると文化的な匂いのするハイカラな美称・雅号が生まれます。美称・豊原の「掃水」、相可の「鹿水」。掃水の「掃」を辞書で探ると「さし掃、こうがいの意」と、ありますから掃田川の名称であることはすぐに分かります。

名付け親は豊原の人、江戸時代中期、津藩、儒学者である奥田三角です。屋号は「奥州」（おくしゅう）、今の掃田郵便局と県道三十七号線の一部が屋敷でした。また、由緒正しい美称が生まれますと、必ずそれにあやかるものが出てきます。「掃水小学校」、それに清酒の「ていすい」もそうであり、今はありませんが江戸末期創業のものでした。

掃水小学校は今までに十一回も校名を変えています。豊原小学校に始まり、初めて「掃水学校」とついたのが明治十五年十月、それから何度か「掃水」が見え隠れし、一時「掃田小学校」となりましたが、昭和二十七年六月から再び「掃水小学校」となつて今日に至っています。

奥田家は三角より四代目と言われる故、修造氏の二男、奥田秋夫氏が当主とり、工学博士で東京都立大学の教授を務めていました。奥田家は伊賀町のお宮参道右側に二百坪くらいの墓地があり、今も祭られています。

伊賀町 三宅忠行

お詫びと訂正

前回のたよりで今回の道路交差法改正に関して、自転車による歩道通行ができなくなりまして記載しましたが、次のとおり訂正してお詫び申し上げます。

・普通自転車歩道通行可の標識のある所。

・十三歳未満の子ども、七十歳以上の人や身体の不自由な人。

・普通自転車で車道通行が危険な場合

右記の場合は、歩道を通行することができず、歩道は歩行者優先で、車道寄りを徐行すること。